

# SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

# こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子  
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地

特集

「社会福祉法人こぶしの会中・長期計画  
策定のための提言(答申書)」をうけて



みらいの仲間たち (セルプ・みらい)

No.287



## ～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ サポートセンターのページ..... 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ..... 7 P

# 「社会福祉法人こぶしの会中・長期計画 策定のための提言(答申書)」をうけて

## はじめに

去る一月三〇日に、九回目の委員会と三回の作業委員会、間に二回の全職員集会を重ねて、「社会福祉法人こぶしの会中・長期計画策定のための提言(答申書)―共生の福祉社会をめざして―」が同策定委員会から答申されました。多くのこぶしの会に期待を寄せる策定委員によって言葉にされた提言をこぶしの会関係者がどのようにうけとめて、どう行動するかが問われます。

## いま、何故中・長期計画か (障害者福祉をめぐる状況)

第一期社会福祉法人こぶしの会整備長期計画を策定したのはちょうど

一〇年前。芳賀の分場が開所した年です。以来、授産施設が四ヶ所、デイサービスセンターが一ヶ所、生活支援センター二ヶ所、グループホーム六ヶ所(平成一七年度)と働く場・暮らしの場、生活支援と総合的な事業を展開し、利用者一五〇人、職員五〇人を越える経営体となりました。

しかし、こうした「発展」が、家族、職員のこぶしへの信頼、一体感や利用者の自己実現につながっていないこと、こぶし共同作業所設立の過程で確立してきた「利用者の要求に依拠した実践」「地域の財産としての作業所」「話し合いで決める作業所運営」「制度のない中での無認可の実践」「地域の人々との共生」「共に育ち合う仲間としての関係」「みんなでつくる作業所」という理

念の追求が弱くなり、補助金事業の陥りやすいマンネリズムを感じ始めたことが再び長期計画を必要とする動機となりました。時は、支援費制度の開始、障害者福祉改革の提言「グランドデザイン(案)」がだされ、制度の大転換が進む最中で議論されました。障害者福祉はその社会的使命(障害者の地域生活の実現)を果たしているのかが問われ、NP

O法人や企業の参入、大規模法人の効率的経営だけが生き残りそうな今、こぶしの会に集まる期待に応え、決意を内外に示していくことも大きな目的でした。

## 提言のポイント

提言の内容は、一言で言うと、障

害ある人々のかけがえのないひとりひとりの地域生活を本格的につくっていくための福祉社会づくりです。こぶしの会の理念を掛け値なしに築いていくことです。

提言は、①地域社会の発展に貢献し、福祉の拠点となる施設作りを図る。②福祉サービスの最適化をめざす。③職員の働きがい、生きがいの実現を図る。という経営理念を提起し、達成すべき戦略を①(障害ある人々が)地域で生涯暮らすことのできる社会システムづくり。②豊かな施設環境づくり。③生きがいある生活づくり。④理念とビジョンを実現する法人・組織作りとして整理し、その具体的な計画を提起しました。

しかし、今提言のポイントは、経営者が計画推進の先頭に立てるの

① 特集

か、職員ひとり一人がこぶしの会の理念実現のかけがえない担い手として活躍できるのかということが問われていることです。提言は、「組織とは何かを問うことが重要である。従来の業務の延長線上の組織では、今回の計画の目的は達成することは不可能である。新しい目的を実現するためには、従来の組織構造を抜本的に改善することが必要である」として、計画を実現するための知識・技術をモデルチェンジすることと、従来の組織に新しい課題を実現する機能を付加すること、つまり、業務の兼務を求め、教育・研修を喫緊の課題として提起しています。

明日から

法人としては、第二期中・長期計画策定のための提言をうけとめ、次

年度の事業計画を、利用者との対話

を繰り返しながら、職員・関係者の知恵をあつめて策定していきたいと考えています。

そのためにも、あらゆるレベルでの情勢と第二期中・長期計画の学習、集団的話し合いを持つ予定です。計画を受け止めることから提言を受け止めて行きたいと考えています。二月二十六日に開催された三〇周年記念シンポジウムで、理事長が「この提言がこぶしの会の関係者のよりどころとなる」と発言されましたが、立ち振り返り返り返り返り立つべき記念的な文書になると思っています。

最後に、二年間の長きに渡り、こぶしの会の未来に心を寄せていただいた策定委員の皆さんには、紙面を借りて感謝の意を表したいと思えます。こぶしの会に関わる私たちが、この提言を真摯に受け止め、一丸となって実践に移していくことを誓いその気持ちをお伝えしたいと思います。ありがとうございます。

策 定 委 員 名 簿

| 氏 名      | 役 職 名               |
|----------|---------------------|
| ◎石 橋 俊 一 | 社会福祉法人パステル理事長       |
| ○池 本 喜代正 | 宇都宮大学教授             |
| 大 友 崇 義  | 創造学園大学教授            |
| 小 関 忍    | ボランティア              |
| 加 藤 佳 子  | 栃木県知的障害者育成会宇都宮支部支部長 |
| 高 橋 昭 英  | こぶし作業所保護者会顧問        |
| 橋 本 道 子  | 社会福祉法人こぶしの会理事       |
| 平 石 利 夫  | 社会福祉法人こぶしの会理事(当時)   |
| 古 市 照 人  | 独協医科大学教授            |
| 増 山 明 美  | 地域生活支援センター・さの施設長    |
| 葎 田 美知子  | NPO法人メイアイヘルプユ一理事    |
| 船 田 福 哉  | 栃木県ソーシャルワーカー協会事務局長  |

◎ 委員長 ○ 副委員長

## こぶし作業所ニュース

### 大盛り上がりの風船割りゲーム

今年度、日曜作業所に変わって取り組んでいる自治会活動日が、先日の1月30日に行われました。今まで役員会が中心になって企画してきましたが、3回目になる今回は、「ぜひ、レク部会でやりたい!」と積極的な声上がり、お任せすることにしました。すると役員をやっていない利用者の意見も聞け、いつにない面白い企画が挙がりました。ずっと思い描いてきたのか、昔の楽しかった行事を思い出したのか、みんなで体を使ったゲームをやることに意見がまとまりました。内容は、旧稲毛田小学校の体育館でミニボーリングと風船割りゲームです。当日は、総勢26名の参加で4チームに分かれ盛り上がりました。ミニボーリングではチームごとに平均得点を出し競いました。期待された人は力んでしまい点数が伸びず、また、普段元気な人がガチガチに緊張したり、肢体障害の人が点数を稼いんだり、色々な表情が見られました。お昼をはさみ、午後は両足に風船を付ける風船割りゲーム。以前、こぶし・けやき合同でスポーツ大会を開催していたときの競技でもあり、この日も異常に盛り上がりました。普段職員を頼っているある利用者も、ゲームになると目つきが変わり職員ばかり狙っていたり、そして最後は、職員対利用者全員で競いました。何人もの職員を相手に逃げ切る利用者もいて、「まいった!」の声は職員からでした。2つのゲームの合計点で順位を決め、全チームに賞品が渡り無事終了しました。久しぶりにたくさん体を使っての行事は、皆どこかにすがすがしさを感じたのではないのでしょうか。

### 新しい作業が始まりました

ダイレクトメールの仕事でお世話になっている㈱α・クリエイトさんから、スポット的な新しい仕事 came ました。今度の仕事は、化粧品の箱詰め作業です。毎週、数百本から千本位の注文に合わせ箱詰めをします。ローションのビン(大・小2種類)とチラシをそれぞれ1本と2、3枚箱に入れふたをします。箱は片手で開けられるので、半身麻痺のある利用者でも簡単にできます。いつも新しい仕事が入ると、できるかなと心配しますが、利用者の底力はすばらしく、どんどんこなしてしまいます。この仕事も毎週こなすので、コツをつかんだら忘れることがないペースでできる為、順調に安定して取り組んでいます。今では利用者同士が自分たちで役割分担し、準備から声を掛け合い仕事を始めています。納品の目標も、利用者には分かりやすいのか、活気のある作業現場にもなっております。㈱α・クリエイトさんには心より感謝とお礼を申し上げ、末永いお付き合いをよろしくお願い致します。

### 新成人おめでとう!!

今年めでたく新成人になるのは、2月4日に20歳の誕生日を迎えた吉永直己さんです。アクセサリーの仕事をもっともっとがんばって下さい。それでは、直己さんとお母さんからの手紙です。



直己、成人おめでとう。

手を離せばもうピンへ行ってしまうか  
わからなかったお金の頃を思えば、  
私を振り回して 待っていてくれる今、  
父さんの成長を感じる事ができます。  
これからいろいろな人との出会いの中で  
助けをもらいながら 元気に生きていこうね。  
お母り



2月4日20才です

おとなになった お仕事がんばります  
お母さんおめでとう

吉永直己

# けやき作業所

## 障害者福祉計画の意見交換会



去る平成一七年二月七日の芳賀町福祉計画策定委員会実施のアンケート調査をもとに意見交換会がサポートセンターで開かれました。参加者は、第2けやきのメンバー四名と、第2けやき作業所所長、各関係者四名です。役場の方の、おいしい獲りたてのイチゴの差し入れとサポートセンターからのハーブティでリラックとした様子で話し合いを進めることができました。みんなの意見が多かったのは芳賀町のバスが減ってしまったこと、夜間の相談体制を調べてほしい、町で精神のレクリエーションをたくさん

開催してほしい、精神障害者への偏見を取り除いてほしい、疾病をみとめた上で多くの人々と友達になりたいなど。他にも作業所に行きつけかけ、利用することによって規則的な生活が送れるようになり、日中の活動の場所で仲間ができたことで孤独感が減ったことなど積極的に前向きな意見が多く交換され、話のつきない一時間半となりました。

これらの貴重な意見が障害の福祉計画に反映されて次回の町の計画策定で具体化されていきます。町の取り組みによって在宅の方への適切なサービスも期待されます。



### パン講習会

1月6日(日)、芳賀町社会福祉協議会で開催されたパン講習会に参加しました。講師として渡辺景子さんがバターロールを教えてくださいました。



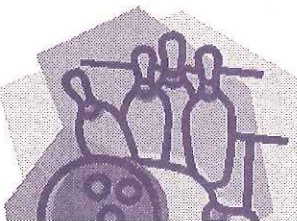
### 宇都宮大学生ボランティア来所

宇都宮大学の学生さんがボランティアに来てくれました。一緒にパン販売に行ってきました。ありがとうございました。



### ボーリング大会開催

1月29日(土)、上三川インターパークにてボーリングを楽しんできました。ハイスコア40のハイレベルなゲームが繰り広げられました。



### 初詣

一月八日(出)、真岡市大前神社に初詣に行ってきました。みんな何を祈願したのかなあ??



### 今日のホリデイ

県東ライフサポートセンターだより

# ほっとCHA

寒～い日が続いていますが、みなさん風邪  
などひいていませんか?

毎日お布団から抜け出るのは一苦労してい  
るのは私だけではないでしょう…

こたつでヌクヌクしながらおいしいお鍋を  
囲むのが最高ですね!

## 今年は何を お祈りしましたか?

今年のほっとCHAは年末年始の全  
ての日を開所しました。しかし思いもよ  
らない大雪で送迎をお断りする日もあり、  
メンバーさんによっては「退屈だ」と  
電話をかけてくる方も…  
元日も大雪のため送迎ができなく、今  
年の初詣は三日になってしまいました。今  
メンバー四名、スタッフ二名で近くの祖  
母井神社にお参りに行ってきました。お  
参りをし、おみくじをひいて最後に温か  
い甘酒を頂いて帰ってきました。  
今年は何をお祈りしましたか? 皆さん  
にとって有意義な日々が過ごせることを  
スタッフ一同願っております。



## お腹いっぱい、 あつたかお鍋

一月九日にほっとCHAでは新年会と  
して「お鍋パーティー」を行いました。  
当日は祖母井神社へ初詣に行く方とお鍋  
の材料を買い出しに行く方、お鍋を作る方  
にわかれてワイワイ準備をしました。だ  
しの効いたお鍋に野菜がたくさん入り、  
うどんにご飯にとお腹一杯になってしま  
うほどでした。大きなお鍋でグツグツ煮  
込んだものはおいしいですね。普段は一  
人で食事をしている方にとっては楽しい  
ひと時になったことでしょうか!



## 新年を迎えて スタッフより一言

新年が明けてひと月が経ってしまいま  
したが、先月のメンバーさんに続き今月  
はスタッフから一言ごあいさつを紹介し  
ます。

この特徴はだれ? 是非皆さんで想像  
してください。

♪あの細い体のどこからそんなパワーが  
あふれてくるの?

健康が一番ですね。皆さんがほっと  
できるサポートセンターにしていきたい  
ですね。

♪「つとさん」と「くまさん」が大好き、  
ほのぼのとした時間がながれます。  
のんびりしましょう。

♪センターの留守を守心して預けられま  
す。でもたまには気分転換に外に出た  
いですよね?

今年も一緒に泣いたり、笑ったりし  
ましょう。よろしくお願ひします。

♪物静かにもくもくと仕事に取り組んで  
います。とつても勉強熱心。

いつも皆さんに教わりながら悪戦苦  
闘しています。今年もよろしくお願ひし  
ます。

♪しつかり者と言われるが、実は一番おつ  
ちよこちよい。困ったものです…

専門的なことは相変わらず? “ば  
かりですが、メンバーさんとの関わり  
の中から勉強させてもらえればと思  
います。

# みらいニュース

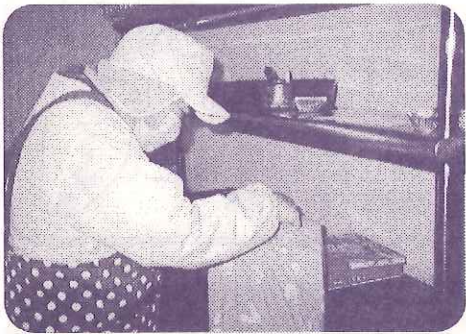


## 弁当奮闘記

セルプ・みらい自主事業の「みらい弁当」。営業許可を取得してから二年と一〇ヶ月。これまで試行錯誤の中、仲間たちとともに頑張ってきました。下野新聞に取材されたり、行事的な注文で朝早くから臨時に働くこともありました。しかし、現実には弁当の注文が伸びず、自主事業とはいえ仲間の給料に良い影響を与えることができない日々が続いていました。

そんな中、今年に入って「みらい弁当」の顧客が増えました。それは、なんとといってもセルプ・みらいが集団として弁当事業に力を入れてきたことが大きな要因だと思えます。今年度、弁当(営業)会議を立ち上げ、営業の仕方・弁当の内容などについて追求した結果がやっとなんか出てきました。ここに至るまで具体的な成果(「みらい弁当らしさ」)が見えてきたようです。弁当班の仲間の間でも、「おおっ、今日の弁当はおいしそうですね!今日の弁当は買っても食べたい!」との声も出るようになり、またそれが自分の作った弁当への自信となつてきているようです。

今では固定客が増え、地域にも広がってきました。これからも一生懸命頑張つて弁当作りに励んでいきたいと思えます。



## 保護者会食事会

1月29日(土)、真岡市公民館西分館で保護者会主催の食事会を開催しました。

今回はテーブルセッティングから後片付けまでしてくれるケイタリングを初めて利用しました。保護者・利用者・職員、そして役員も含めたみんなが、ゆっくりお話ができ、親睦を深めることが少しは、出来たのではないかと思います。

また、ちょうど今年、成人を迎えた利用者がいらっしまったので、保護者も一緒にお祝いできて良かったと思います。

ご招待したはずなのに、職員の皆様には、コーヒのサービスや唄のリードそして利用者サービスを提供していただいたりで休日出勤のようになり、慰労にはならなかったのが申し訳ないなあと思ひながら、とてもとても感謝しています。

和やかなひと時で、それなりに成功かな、お持ち帰りになった景品がおきに召されたらなお嬉しいかなと思っています。ご出席ありがとうございました。

セルプ・みらい保護者会会長 横山 みどり

## チャリティーダンスパーティー開催

1月23日(日)に真岡市青年女性会館において、後援会主催のダンスパーティーを開催しました。今回で5回目になりますが、毎回参加して下さる方も大勢いらっしや、恒例のお楽しみ抽選会も大好評です。チケットは、真岡・上三川を中心にダンスサークルにお願いして、販売していますが、皆さん快く引き受けてくださり、大変感謝しています。このパーティーを通して、セルプ・みらいという施設の存在を広め、より多くの人たちが、ハンディーのある人を身近に感じてほしいと思います。そして、最近は顔なじみの方々とのお話も楽しみにしています。後援会のスタッフも楽しんでそれぞれの役割を果たしてくれています。次回は4月10日(日)に開催しますので、皆様もぜひ一度足を運んでください。お待ちしております。

みらいの会(後援会)会長 佐護 操



僕たちのこと  
 もっと知ってほしい!

**ボランティア大募集**

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所  
 028-687-1040






**こぶし作業所・後援会  
 ボランティア大募集!**

1. 日常の利用者の作業補助
2. キッチン・セルフ  
 (軽食喫茶店)の作業補助
3. フリーマーケットの準備・参加 (毎月第4日曜日)

お待ちしています


お問い合わせ こぶし作業所  
 ☎028 (662) 1911

**休日を利用して**

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなととてもよいところですよ!

☆第2けやき作業所  
 ☆県東ライフサポートセンター



**セルフ・みらい  
 ボランティアさん募集!!**

- 箱折り
- プールを取り戻し  
 (※1-3火曜日AM中)

\*詳しくは、セルフ・みらいまで...  
 ☎0285-81-1155



社会福祉法人 **こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401  
 TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
- 生活支援センター ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内  
 TEL 028 (613) 5703  
 E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- キッチンセルフ ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内  
 TEL 028 (622) 0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7  
 TEL 028 (667) 5531
- けやき作業所  
 デイサービスセンター ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244  
 TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789  
 E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532  
 TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818  
 E-mail inageda@fancy.ocn.ne.jp
- 県東ライフサポートセンター  
 ● すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2  
 TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178  
 TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1204-4  
 TEL 028 (677) 0776
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23  
 TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177  
 E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp

発行所 郵便番号 177-0073

東京都世田谷区砧六-二六-二一  
 特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円